

新年あけましておめでとうございます。皆さんには、心新たに仕事始めの日を迎えていただいたことと思います。平素より様々な分野で奈良県の子どもたちのためにご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

私が教員になって40年ほど経ちますが、この間、パソコンの性能は驚くほど進化しています。35歳の時にはじめてノートパソコンを買いました。ノートパソコンといっても、当時は相当分厚いもので、値段も給料2カ月分ほどでしたが、世界初ということで、喜々として手に入れたそのパソコンを使って、文書作成や表計算など教務の仕事をしていたことを思い出します。今や、5万円程度で大変優秀なパソコンが手に入ります。また技術の進展だけでなく、インターネットの普及により、世界が一つの市場になり、グローバル化が加速しています。

このような時代の流れの中、教育はどれだけ進化をしているのでしょうか。

変化がますます激しくなるこれからの時代を生きる子どもたちには、社会の変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、自らの可能性を最大限に発揮し、自ら人生を創出することが求められます。県教育委員会では、時代の変化に対応できる「魅力と活力ある高等学校づくり」を目指し、県立高等学校適正化実施計画を策定いたしました。本年4月には県立国際高等学校がいよいよ開校いたします。国際高等学校では、多様な人々と積極的にコミュニケーションする力や地球規模の課題について探究する力を身に付けて、グローバル社会を牽引する人材を育成することをMissionとしています。今後、県内のすべての学校において、生徒の個性や価値観と向き合い、長所を伸ばすような教育を展開することで、本県の学校教育の質をさらに高めていくことができると確信しています。皆でアイデアを出し合いながら、奈良県教育に新たな価値を生み出していきましょう。

県教育委員会事務局においても、4月より組織改編等によって進化したいと考えています。一つ目として、発達障害を含めた様々な課題に対応するため、特別支援教育を更に推進します。二つ目として、教育情報化の推進です。情報化が急速に進展している昨今においても、学校における授業のスタイルは、黒板にチョークが主体となっています。今後、ハード面の整備や教育内容の充実などに取り組み、情報化に対する本県の遅れを取り戻してまいりたいと思っています。三つ目として、様々なこころの状態にある子どもたちを個別に支援するため、教育支援に関する機能を強化します。組織改編等によって、時代の変化に対応し、進化を続ける学校をより一層支援してまいりたいと考えています。

本年が皆さんにとりまして、明るく希望に満ちた実り多い年となりますよう心から祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。

令和2年1月6日

県教育委員会教育長 吉田 育弘